

学番	75	県立糸魚川高等学校
----	----	-----------

令和6年度

学校自己評価表(計画)

学校運営計画			
学校運営方針	生徒一人ひとりの進路希望達成のため、職員の英知を結集し、学校としての組織力を高め、教育活動(学習指導、進路指導、生徒指導等)の充実を図り、地域協働推進校(アソシエイト)として、地域・保護者から信頼される学校づくりを行う。		
三つの方針(スクール・ポリシー)			
育成を目指す資質・能力に関する方針(グラデュエーション・ポリシー)	① 地域と協働した探究活動をおとして、多角的な視点から地域の課題を探究する力を培い、地域へ貢献する心と実行力を育成します。 ② 個別最適な学びと協働的な学びをおとして、多様な価値観を受け入れ、他者を尊重する心と共に成長し続ける姿勢を育成します。 ③ 学校生活と地域活動をおとして、体力・気力・知力を充実させ、豊かな心とひたむきに努力を続ける忍耐力を育成します。		
教育課程の編成及び実施に関する方針(カリキュラム・ポリシー)	① 生徒一人ひとりの進路希望達成のため必要な科目を配置し、ICT機器を活用して、主体的、協働的な学習活動を展開します。 ② 望ましい職業観・勤労観を涵養し、社会に貢献する人材を育成するため、生徒一人ひとりに応じた進路指導・キャリア教育を推進します。 ③ 豊かな人間性を育み、基本的な生活習慣を確立するため、学校行事や部活動、ボランティア活動等をはじめ教育活動を通じて、体力・気力・知力を充実させます。 ④ グローバルな視野を身につけ、自分の考えや意見を発信できる態度・能力を育成するため、地域や保護者と連携し、地域課題に取り組む課題解決型の学びを充実させます。		
入学者の受入れに関する方針(アドミッション・ポリシー)	① 「勤儉力行」の校訓を理解し、志が高く持って何事にも粘り強く取り組む生徒 ② 他者を尊重・協調しつつ、互いに切磋琢磨し、自らを高めることに努力を惜しまない生徒 ③ 郷土愛を胸に、地域社会はもとより、日本と世界に貢献したい志のある生徒		
昨年度の成果と課題	令和6年度の重点目標	具体的目標	
<p>生徒に対して、適時適切な進路指導で学習意欲の向上を促しつつ、日々の授業の他、補習等の充実を図り、学力向上に努めた。東京学芸大学、新潟大学、富山大学、新潟県立大学等の国公立大学合格者が18人となった。また、就職希望者は、公務員等を含め全員(6人)が内定を得るなど成果をあげた。</p> <p>今後は、新学習指導要領を視野に入れた教科指導やICTを活用した個別最適化学習の指導体制の整備に努める。また、糸魚川市と連携し、自習室運用等の支援を受けると共に、SDGsをテーマとする探究活動「糸魚川学(I Quest.)」を展開し、教科横断的な学びを推進する。生徒・保護者・地域から信頼され、選ばれる組織的運営の学校とする。今年度は教諭数が22人となる。市から派遣のコーディネーターと協力し、部活動の地域移行を含め業務の選択と集中を進めていく。</p>	生徒一人ひとりの進路希望達成のため徹底した学習指導・学力向上対策を行う。	学年や分掌が目標を設定し、組織力を生かし、学校をあげて課題解決にあたるとともに主体的・対話的で深い学び、ICT教育などによる積極的な授業改善を図る。	
	夢を育て、目的意識を高める進路指導・キャリア教育を充実させ、望ましい職業観・勤労観を育成するとともに、社会に有為な人材の育成を図る。	勤労観、職業観を育てることを通して目的意識の醸成を図る。地域貢献の志を養い、自身の進路選択にも結びつく探究活動を推進する。	
	基本的な生活習慣を確立し、体力・気力・知力を充実させ、豊かな人間性の育成を図り、「勤儉力行」の精神を涵養する。	学校行事や部活動を通して豊かな人間性と社会性を育む。いじめ防止基本方針に基づき、学校組織として取り組む。	
	個に応じた指導により学習指導の充実を図るとともに、グローバルな視野を身に付け、自分の考えや意見を発信できる態度・能力を育成する。	学習内容に対する興味関心を育み、分かる授業、できる授業の実践に努める。自分の考えや意見を対外的に発信する機会を充実させる。	
	信頼される学校づくりのため、地域・保護者との連携を深め、学校の教育活動の積極的な発信を行う。	教育活動の理解・支援と改善に資するよう、ICTを活用し積極的に情報の公開と発信に努める。	
	具体的目標	具体的方策	評価
生徒一人ひとりの進路希望達成のため徹底した学習指導・学力向上対策を行う。	学年や分掌が目標を設定し、組織力を生かし、学校をあげて課題解決にあたるとともに主体的・対話的で深い学び、ICT教育などによる積極的な授業改善を図る。	確かな学力を養成する適切な教材選択 豊富な教材研究による授業の充実 小テスト・週末課題等の有効活用 実習・実験の効果的実施 学習習慣の確立に向けた学習指導 ICTを活用した個別最適な学習指導 模擬試験等の有効活用 他教科間の授業相互参観	
夢を育て、目的意識を高める進路指導・キャリア教育を充実させ、望ましい職業観・勤労観を育成するとともに、社会に有為な人材の育成を図る。	勤労観、職業観を育てることを通して目的意識の醸成を図る。地域貢献の志を養い、自身の進路選択にも結びつく探究活動を推進する。	進路説明会・進路講演会・職業講話の充実 高校3年間を通したキャリア教育計画を策定 進学・就職等の情報の充実 面接指導・小論文指導の充実	
基本的な生活習慣を確立し、体力・気力・知力を充実させ、豊かな人間性の育成を図り、「勤儉力行」の精神を涵養する。	学校行事や部活動を通して豊かな人間性と社会性を育む。いじめ防止基本方針に基づき、学校組織として取り組む。	基本的な生活習慣の確立 社会規範意識の醸成(法律や校則の遵守) 体力・持久力の向上 いじめを見逃さない学校づくり 生徒会・委員会活動の活性化 部活動の活性化 自己有用感と自己肯定感の向上	
個に応じた指導により学習指導の充実を図るとともに、グローバルな視野を身に付け、自分の考えや意見を発信できる態度・能力を育成する。	学習内容に対する興味関心を育み、分かる授業、できる授業の実践に努める。自分の考えや意見を対外的に発信する機会を充実させる。	分掌・学年・教科等での情報の共有 研修会等への積極的参加 学校活動を通しての生徒理解 考えや意見を発表させる機会の充実 学校施設の整備	
信頼される学校づくりのため、地域・保護者との連携を深め、学校の教育活動の積極的な発信を行う。	教育活動の理解・支援と改善に資するよう、ICTを活用し積極的に情報の公開と発信に努める。	保護者や地域、中学校との交流 学年通信等の発行 保護者への進路情報提供の充実 授業・学校行事の公開 ICTを活用した情報公開、発信の充実	
成果	総合評価		